

平成21年度安全報告書

わたらせ渓谷鐵道株式会社

社長挨拶

平成元年にJR足尾線を引き継ぎ、第三セクターの鉄道会社としてわたらせ渓谷鐵道は、平成21年3月をもって開業20周年を迎えました。これまで育てていただいた多くの皆様に心から感謝申し上げます。

地域とともに歩んできたわたらせ渓谷鐵道ですが、20年の間には様々な環境の変化がありました。鉄道存立の基盤である沿線人口は、少子高齢化に伴い激減するとともに、平成6年度には100万人を超えていた年間乗車人員は、平成20年度には50万人台まで減少しております。

しかしながら、沿線、地域の交通弱者の皆様にとっては掛替えのない公共交通機関であるとともに、地域住民にとっては地域活性化の原動力となる存在であります。

沿線には絹織物発祥の地桐生市から渓谷美溢れる渡良瀬川、日本の近代化に大いに貢献した足尾銅山遺産に至るまで観光資源に恵まれており、群馬・栃木両県とも観光行政には特段の力を入れているところでもありますので、当社は観光鉄道として魅力アップを図っていくべきだと考えております。

そこで何よりも重要なことは、「安全で安定した輸送」ということになります。さいわい当社の路線は、国、群馬・栃木両県、桐生市・みどり市・日光市の3市の支援を受けて、毎年必要な安全対策工事を実施していますので、線区の安全度は着実に向上しております。

第3セクター鉄道を取巻く環境は、日々厳しさを増しておりますが、「安全で安定した輸送」を基盤として、また新たな節目に向かい、積極的に営業を展開していく決意であります。

1 安全に関する基本方針

(1) 基本方針

輸送の安全確保は、鉄道事業に携わる当社にとって基本的な使命であり、会社経営の原点でもあります。この認識をもとに当社の事故防止活動は、過去の事故の反省に立ち、改めて「意識した指差確認喚呼」、「安全基本ルールの厳守」に社長以下全社員で取り組むことにしています。

(2) 目標

運転事故など大きな事故を絶滅するとともに、お客様に迷惑をお掛けする輸送障害についても、極力防止することを目標としています。

(3) 重点実施項目

目標を達成するため、次の項目を重点的に取り組むことにしています。

- ・ 安全管理体制の確立
社長の強力なリーダーシップのもとに、現場の情報、課題を把握するとともに、現場にフィードバックする体制を構築するため、各職場の事故防止計画の実施状況を点検しながら推進します。
- ・ 教育、訓練の充実
知識・技能教育を引き続き実施して技術力の強化を図るとともに、異常時取扱い実技訓練を充実して実践力の向上を図ります。
- ・ 車両、設備の故障防止
使用状態に応じた計画的保守管理の強化を図るとともに、更新修繕、重要部品の計画的取替を促進します。
- ・ 自主的な事故防止活動の育成と意欲の高揚
あらゆる機会を通じて、自主的な事故防止活動を育成するとともに、意欲の高揚を図ります。

2 平成20年度運転事故・輸送障害発生状況

年度別	運 転 事 故	輸送障害(列車が30分以上遅れたもの)	
	衝突、脱線、踏切事故など	設備・車両等の故障によるもの	雨などの自然災害によるもの
18	0	5	3
19	0	3	4
20	0	2	7

3 平成20年度安全対策実施状況

	項 目	施 行 箇 所	工 事 費(千円)
線 路 施 設	軌道強化	原向～通洞間重軌条交換	8,334
		水沼駅構内16号分岐器交換	12,290
	橋梁の改良	足尾～間藤間第1松木川橋梁	12,415
	防災設備整備・改良	大間々～上神梅間9k720付近	900
	計		33,939
保 安 設 備	自動列車停止装置改良	車上装置改良8両	1,210
	踏切保安設備改良	大間々駅構内ながめ道踏切	9,107
	計		10,317
	合 計		44,256